

ホクレン

昨年度実績247億円  
中古常設展は、前年

5%  
增

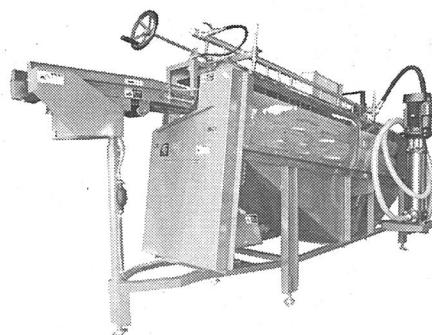
産者への対応⑦実証した技術の普及など生産現場の課題解決⑧地域生活の拠点確保。

械の拡充や農薬散布ドローランを活用した請負防除体制の構築、搾乳ロボットに対応した配合飼料の

と普及推進、スマート農業技術の実証・情報提供、ホクレンRTKシステムの機能向上と導入地域拡

約状況は、成約台数が  
9175台で成約金額  
18億1889万円(前年  
比5%増)で全道的に好

田植機も実演メインの販売展開を始めた。  
また水田farmや  
WATARASAIKAI



### 異形根菜類洗淨機FGW-S

度を付けた植元で表面を傷めないので、洗浄された原料は仕上がりが良く、ブランの耐久性にも優れる。大量の土がついた異形根菜類を特殊プランチと高圧特殊ノ

から、「いびつな形状で手洗いしていったものが、重なり部分の土や汚れまで洗浄でき作業が楽になつた」との声が。今までほぼ根の固まりのような薬草は手でほぐさないと洗浄できなかつたが、手でほぐす作業が軽減され洗浄の効率が飛躍的に向上するなど、洗浄工程が増産の制約となる作物の生産拡大にも大きく寄

また導入した生産者も、一度を付けた植元で表面を傷めないので、洗浄された原料は仕上がりが良く、ブランの耐久性にも優れる。大量の土がついた異形根菜類を特殊プランチと高圧特殊ノ

複雑な形状をしたシンヨウガ、キクイモ、ウコンなど、洗浄に大変な労力を要してきた生産者の声に応えて開発した洗浄装置である。

植毛したプランは高圧洗浄との相乗効果により曲がり、凹み、くぼみ、根やひげなどがあつても大量の泥や汚れはもちろんクスミまで落とせる。

留まり向上や使用水量削減による資材費削減及び作業の労働負担・労働時間の大幅な削減による農業経営上の効果が期待される。

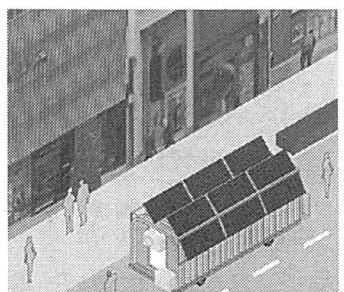
エフ・イー

(一社) 北海道農業機械工業会は5月22日、第38回優良農業機械・施設等表彰を実施した。北海道知事賞と北海道農業機械工業会会長賞に(株)エフ・イーの異形根菜類洗浄機FGW-Sが選定された。

北農工

# 優良農機·施設等表彰

新芋のさつまいもでも途切れることがない。洗皮むけがほとんどないなど、高評価が得られていている他、導入先では予定されていなかつたわさび・ナルコユリの根・トウキ・センキユウ・日野菜等の洗浄にも利用されているなど、普及範囲の拡大が見込まれる。



北農工  
令和2年生産出荷実績  
219億円で2%減

**土作業機・土地改良機械**  
が40億円(同2%減)で  
6187台(同12%減)。  
日田手用又隻手業機が

アイスシエルター（氷室）の倉庫内の温湿度は、熟成を行うのに最適である。熟成肉や熟成じがり、もなび農産物での利用でうまみ成分を増す上に、CO<sub>2</sub>排出もほぼ行わないことから、評価の高まりを見せていく。

北農工は、令和2年歴年正会員の農業機械機種別生産・出荷実績の調査結果を公表した（正会員28社中16社が協力）。それによると総出荷額は約219億円（前年比2%減）とした。自社生産出荷台数は207億円

(同23%減)で2万2642台(同1%減)とした。自社生産分の区分別では、施肥・播種・管理用機械が52億円(同8%増)で9766台(同28%減)。酪農用圃場機械が44億円(同6・5%減)で3955台(同6・6%減)。

36億円（同8%減）、896台（同14%減）とした。部品・その他では、24億円（同±0）とした。